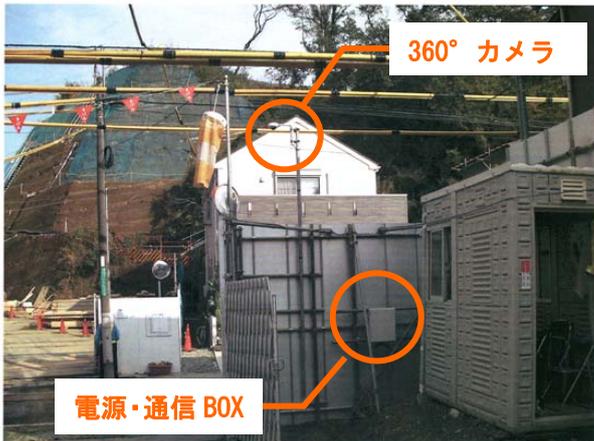


工事現場～可搬式監視システム PAVS-360 の設置



◆ 導入のきっかけ

- 工事現場の進捗を管理棟から確認したかった。
- 工事の期間だけの設置なので、簡単に設置・取り外しができるものが欲しかった。
- 少ない台数で全域を見たかった。
- 雨天や夜間、現場に人が居ないときに、資材の盗難などを監視したかった。



◆ 360度カメラの設置状況

- 工事現場の足場の支柱を伸ばして、カメラをクランプで取り付け。
- 現場へのトラックなどの進入路、現場入り口、現場、資材置き場が同時に見える場所へ設置した。
- 電装ボックスは休憩所の横へ設置し、休憩所から電源を引き込んだ。
- カメラは全天候のハウジング入り。



全てが収納できて持ち運び可能な電装ボックス

◆ 導入の効果

- 1台で全エリアを見渡せるので、初期投資が節約できた。
- 予め電装ボックスの中で配線ができていたので、現場で面倒な配線工事がなかった。
- 工事完了後は、別の現場へ簡単に移動できて使用できるので、大変便利だ。
- 現場の状況を本部から確認でき、施主の安心を得られた。

◆ システム構成

